

編集後記

2019年8月号をお届けします。昨年の夏は雨の少ない猛暑の日が続きましたが、今年はどうなることか？ 今のところ5月から30度を超える真夏日が続いて、春からの暑さに慣れてしまっています。地球温暖化を否定する人もいるようですが、春からの夏日や各地の豪雨など何か気象がおかしい、というのが私の実感です。

さて、本号の特集は、「原発性免疫不全症候群—最近の話題」です。遺伝子解析法の進歩とともに、多数の責任遺伝子が見つかるようになり、分類も変わってきています。「新しい国際分類 (IUIS2017) について」では、多くの新しい責任遺伝子発見に基づく新分類について概説していただきました。「原発性免疫不全症候群の疫学」では、免疫不全疾患の頻度について概説していただきました。「新たに確立された疾患・疾患概念」では、この2年で新たに加わった疾患と新たな責任遺伝子について概説していただきました。「原発性免疫不全症候群の臨床症状」では、原発性免疫不全症候群を疑う症状と、各疾患の症状や感染の特徴について概説していただきました。「原発性免疫不全症候群の診断と遺伝子解析ネットワーク」では、検査手順と遺伝子解析依頼の手順が示されています。「原発性免疫不全症候群の治療」では、本疾患群の治療について概説していただきました。「原発性免疫不全症候群の遺伝カウ

セリング」では、カウンセリングの実例をふまえての概説をいただきました。「原発性免疫不全症候群患者の移行期医療」では、小児科から内科への移行について概説していただきました。以上、原発性免疫不全症候群の最近の進歩がすべて網羅されています。

特集以外にも論文が載っています。診療欄の「授乳・離乳の支援ガイド (2019年改訂版) 作成における提言」では、授乳・離乳の支援ガイド作りの過程と骨子を示していただきました。

社会小児科学欄の「地方の小児科診療における遠隔医療の役割」では、岩手県における小児科の遠隔医療の状況を紹介いただきました。遠隔医療に対する診療報酬上の今後の課題も指摘いただいています。「新生児の薬物治療を取り巻く状況」では、新生児や小児に対する使用承認が得られている医薬品が少ない現状と今後の課題について概説していただきました。

症例報告も2編、「小児科臨床教育の実際」の連載も載っています。

「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科学教室から呼吸器に関する論文を紹介いただきました。

以上、非常に充実した、日常診療に役立つ内容になっていますので、ご一読くださいますようお願いいたします。

(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄 (ABC 順)

小児科

第60巻 第9号 8月号

2019年8月1日発行 (毎月1回1日発行)

定価 (本体 2,700 円 + 税)

年間購読料金

定価 (本体 42,100 円 + 税)

[年間13冊 (増刊号、増大号を含む) の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版者>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。